

◆4階図書の配架について

配架場所は次のようになっています。ホームページのOPAC(目録検索)で所蔵を確認して図書資料を探します。お探しの図書資料が見つからない時は、職員にお尋ねください。

開架書架

・医学・保健医療 関係等の図書は、全て「開架書架」に配架されています。(NLM分類)

1
単行本

QS
(人柄培学)

22
単行本

WY・WZ
(看護学 (医学史))



新しい「**国試関係図書**」
(2007年4月以降受入)は、全て

23
単行本

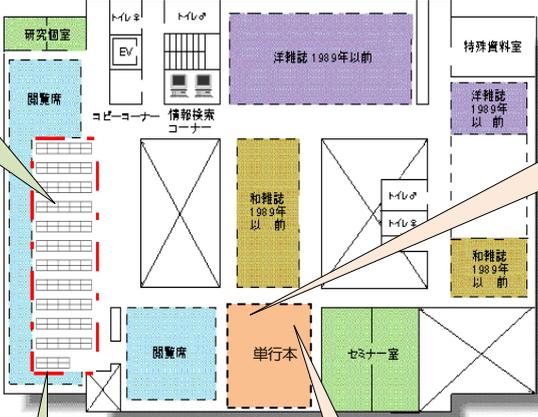
国試試験コーナー

24
単行本

国試試験コーナー

に配架されています。

<4階平面図>



集密書架

・人文、社会科学 関係
「哲学、心理学、社会科学、芸術、言語」等の図書は、全て「集密書架」に配架されています。
(NDC分類)

C-01 ~ C-19



以前に受入れた「**国試関係図書**」
(2007年3月以降受入)は全て

集密書架 C-27

に配架されています。



◆総合情報センターへのお問い合わせ先

お問い合わせ内容	内線	E-mail	照会先
図書館の利用に関すること	2425	libserv@sapmed.ac.jp	図書グループ (利用サービス)
学内所属員の文献複写依頼に関すること	2418	illo@sapmed.ac.jp	図書グループ (利用サービス)
学外からの文献複写の申し込み	2417	illr@sapmed.ac.jp	図書グループ (利用サービス)
図書に関すること	2426	book@sapmed.ac.jp	図書グループ (図書管理)
雑誌に関すること	2416	serial@sapmed.ac.jp	図書グループ (図書管理)
札幌医学雑誌に関すること	2423	satuisi@sapmed.ac.jp	図書グループ (図書管理)
メール・アドレス、LAN への機器接続に関する	2239	icccj@sapmed.ac.jp	総務・システム グループ (情報システム)
図書館へのご意見・ご要望に関すること	2413	konno@sapmed.ac.jp	図書グループ 主任司書

No.1

Nov. 2010

ご挨拶

附属総合情報センター
所長 當瀬 規嗣

前任の佐藤昇志教授のあとを受けて、今年度より札幌医科大学附属総合情報センターの所長の任に当たることになりました。新しい任務に気分もあらたに精一杯つとめる所存であります。

当センターは大学に設置が義務づけられております図書館業務と、現代の大学での教育研究・業務運営に欠くことの出来ないLAN、ICTなどの情報システムの維持管理業務を一元的に執り行う部局です。そのキーワードは「情報の管理と保持」であります。

そもそも学問とは、人類の英知を収集し、記録し、それに立脚して思索を巡らすことであり、その成果を残す唯一無比のツールが書籍・書類でありました。知識・事実の収集と記録とは、現代の言葉では総体として「情報」という言葉でくくられます。ですから図書館と情報センターはもともと同一概念に立脚したものであり、一体とした運営管理にはきわめて先進的な意味があるのです。

昨今、総合情報センターの周辺状況は、厳しさを増しています。大学運営に関わる経費自体に大きな制限がかかる状況の中、膨れ上がる図書購入・情報収集・システム整備に必要な費用をどう捻出し、折り合いをつけるか、全学的な議論が必要になっています。また一方で、情報技術の革新により、電子ジャーナルや電子書籍など、書籍自体の電子化あるいは情報化がすすみ、物理的実体が消却されつつある時代になっています。このことは、経営効率化の名の下に、センターの規模縮小・機能縮小・あるいはアウトソーシングの圧力に転化する危険性をはらんでいます。しかし、



情報・図書館業務は、実はもっと人間的な側面が強いものであることを周知しなければなりません。「読書をする行為は単に情報得る行為ではなく、思索を促進すること」、「PCを使ってインターネットの世界に出ることは、人間の創造的好奇心を強く刺激すること」です。つまり物理的実体としての総合情報センターは大学の教育研究の根幹をなすことを忘れてはならないのです。単なる人員削減のツールに使用しようとする発想は断じて容認できません。大学は大学なのです。独立しているのです。行政機関ではないのです。

「情報の管理と保持」はその場限りの業務ではなく、未来永劫、脈々と続けられなければ意味はありません。その継続性をいかに担保してゆくのか、大学の教職員のみならずとも考え、少しでもよりよいものにしてゆきたいと思っております。

誌名「Baarks (バークス)」は、本の語源でありますラテン語の「樹皮 (liber)」の英訳です。

使ってみよう！ リモート・アクセス・サービス

ー 自宅や出張先からの学内ネットワーク、学内限定コンテンツ活用術 ー

当センターは、文献検索や電子ジャーナルといった図書館コンテンツに加え、電子メールやファイルサーバーによる個人フォルダの提供などさまざまなネットワーク・サービスを提供していますが、これらのサービスの多くは、ちょっと手を加えることにより自宅や出張先などでもそのまま利用することができます。ここでは、「リモート・アクセス・サービス」と呼ばれる学外からのネットワーク・サービス利用法について概説いたします。

なお、電子メールや個人フォルダの利用など個々のサービスの詳細は、当センター・ホームページへのログインにより確認することができますので、本稿と併せ、ぜひご一読ください。

1 ご利用条件

リモート・アクセス・サービスのご利用は、本学所属員で、かつ本学電子メール・アカウントを取得している必要があります。電子メール・アカウントを取得されていない方は、後述のお問い合わせ先までご照会ください。

2 リモート・アクセスの種類

リモート・アクセス・サービスは、大別して Web ブラウザ対応サービスと専用ソフト対応サービスの2種類があります。利用できるサービス内容の詳細は次ページ表のとおりで、次のような特徴があります。

(1) Web ブラウザ対応サービス

Internet Explorer や Safari など Web ブラウザに特化したサービスです。申請無しで利用できる Web メールや教職員限定のグループウェアのほか、「プロキシ (Proxy)」と呼ばれる代理サーバー (図1) の利用申請を行うことにより、図書館の文献データベース検索や電子ジャーナルの閲覧など学内 LAN 経由に限定されている各種 Web サービスの利用が可能となります。

(2) 専用ソフト対応サービス

B フレッツなど自宅などで使用しているネットワーク回線と本学学内 LAN との間に仮想的なネットワーク (Virtual Private Network) を構築し、リモートアクセスする方法です。ご使用パソコンに「VPN クライアント」と呼ばれる専用ソフトをインストールします。

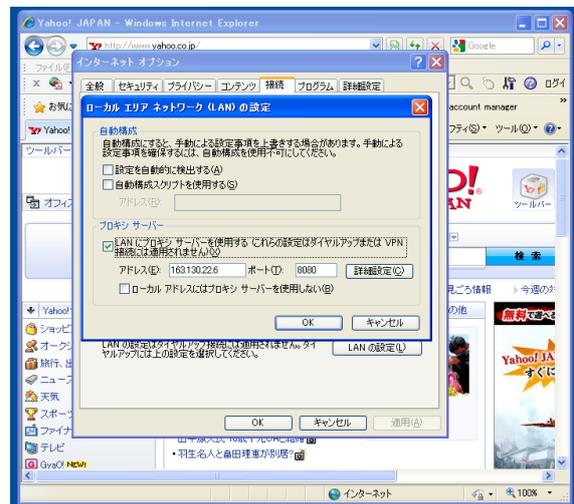


図1. Web ブラウザ・プロキシ設定画面

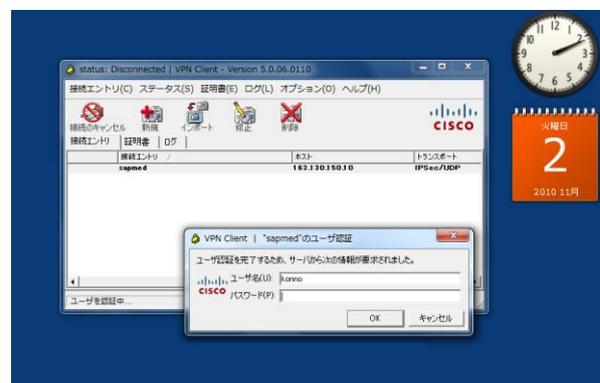


図2. VPN クライアント起動後の認証画面

種 別	内 容
Web ブラウザ対応サービス	
設定不要で利用が可能（申請不要）	
Web メール	Gmail などと同様、Web ブラウザによるメールの送受信のほか、ファイル宅配便機能により 100MB までのファイルの授受ができます。携帯（モバイル）版もあります。
グループウェア	教職員限定のサービスです。個人やグループによるスケジュールや伝言の管理のほか、事務文書の公開やファイルの授受などができます。
代理（プロキシ）サーバを利用したサービス（要利用申請）	
文献データベースの利用	ブラウザに「プロキシ」と呼ばれる代理サーバを設定し、文献データベースや電子ジャーナルなどの図書館コンテンツを利用する方法です。
電子ジャーナルの閲覧	
専用ソフト（VPN クライアント）対応サービス（要利用申請）	
専用メールによる送受信	Outlook など普段使用しているメールソフトによるメールの送受信ができます。専用ソフトをインストールしていない場合は、受信のみの利用となります。
個人フォルダの利用	サーバー内の個人フォルダの共有により外付けディスク代わりに、事務文書やレポートなどを保存することができます。保存したファイルは日々バックアップされます。
ファイル転送（FTP）	個人フォルダへのデータ保存やホームページ更新のためのファイルの転送サービスです。FFFTP などの転送ソフトによりによりファイルの移動を行います。
サーバ操作（telnet）	telnet コマンドを使ったリモートサービスです。サーバー内の個人フォルダへのログインによりスクリプトを使った処理やファイルの編集・管理などができます。

VPN クライアントによるパスワード認証後（図2）、ご使用パソコンは、学内 LAN に接続している状態となりますので、Outlook など普段お使いのメールソフトによる送受信、ホームページの記事更新や個人フォルダの共有によるファイルの保存など通常どおりのサービスをご利用いただくことができます（Web ブラウザの利用は除く）。

3 ご利用上の留意事項

（1）利用申請方法

上記表のサービスのうち、「要利用申請」のサービスを希望される方は、次の当センター・ホーム・左メニュー「SAINS 利用申請書」をご参照の上、手続きくださるようお願いいたします。

（2）制限事項

リモート・アクセス・サービスでは、次の制限がありますので、予めご了承ください。

- ① Web メールご利用によりメールボックス容量（送受信合算）が 200MB に制限されます。
- ② Web プロキシでは、匿名掲示板をはじめとする一部サイトへのアクセス制限があります。

4 お問い合わせ先

（1）電子メール・アカウント、リモートアクセスなどネットワークに関するお問い合わせ

総務・システムグループ（主査（情報システム） 内線 2239、2249、E-mail: icccj@sapmed.ac.jp

（2）文献検索、電子ジャーナルの閲覧方法など図書館サービスに関するお問い合わせ

図書グループ（主査（利用サービス） 内線 2425、E-mail: libserv@sapmed.ac.jp